［参考書式］

設計内容説明書（省エネルギー性）

断熱等性能等級用
RC造等用

建築物の名称：

確認項目			設計内容説明欄 設計内容	記載図書	設計内容確認
目標等級			□ 等級４　□ 等級５　□ 等級６　□ 等級７		□ 適 □ 不適
地域区分			・地域区分　（　　）　地域		
適用する基準			□ 性能基準 □ 仕様基準		
・性能基準による場合	外皮平均熱貫流率		外皮平均熱貫流率UA （　　W／㎡･K ）	□ 計算書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	□ 適 □ 不適
	冷房期の平均日射熱取得率		冷房期の平均日射熱取得率 η AC （　　）		
・仕様基準による場合	躯体の断熱性能等		□ 熱貫流率の基準に適合 □ 断熱材の熱抵抗の基準に適合	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	□ 適 □ 不適
	開口部の緩和措置		□ 緩和措置有り □ 窓の断熱（2%緩和）　□ 窓の日射（4%緩和）		
	躯体の断熱性能等	断熱材の仕様	屋根　（　　） 天井　（　　） 壁　（　　） 床　外気に接する部分　（　　） その他の部分　（　　） 土間床等の外周部　外気に接する部分　（　　） その他の部分　（　　）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	
	開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性	建具形態　建具・ドア枠の材質・形状　ガラスの種類・構成等 （　　）（　　） （　　）（　　） （　　）（　　）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	
		窓・ドア等の日射遮蔽措置	方位　ｶﾞﾗｽの日射侵入率等　ひさし・軒・付属部材等 （　　）（　　）（　　） （　　）（　　）（　　） （　　）（　　）（　　） （　　）（　　）（　　）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 平面図 □ 矩計図 □	
結露防止対策	結露の発生防止対策		□ 防湿層の設置(繊維系断熱材等の場合) □ 設置　□ 省略 □ 通気層の設置（断熱構造とする場合） □ 屋根　□ 有（　　）　・防風層の設置（　　） □ 省略 □ 外壁　□ 有（　　）　・防風層の設置（　　） □ 省略 □ 内断熱工法 □ 断熱材を構造躯体に全面密着等	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 矩計図 □	□ 適 □ 不適
熱橋部対策	熱橋部の断熱補強対策		・構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ （　　） 補強範囲（　　mm）	□ 仕様書 □ 仕上表 □ 矩計図 □	□ 適 □ 不適

注1）フラット35の断熱構造等に関する基準は、次のいずれかになります。
①断熱等性能等級4以上及び一次エネルギー消費量等級4以上
②建築物エネルギー消費性能基準（別途、結露の発生防止対策が必要です。）
①により申請する場合は、本書式に加え、一次エネルギー消費量等級用の設計内容説明書をご利用ください。
また、②により申請を行う場合は、建築物エネルギー消費性能基準用の設計内容説明書をご利用ください。

注2）フラット35S（金利Aプラン）「省エネルギー性」に関する基準は、住宅性能表示制度の断熱等性能等級5以上及び一次エネルギー消費量等級6になります。
本基準により申請する場合は、本書式に加え、一次エネルギー消費量等級用の設計内容説明書をご利用ください。

注3）太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の検査において変更することができます。

注4）書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合は、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。

2023年4月